



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社  
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 松木 伸太郎  
 (氏名) 森川 淳  
 TEL 0776-36-5800

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,665	8.6	521	13.6	932	16.4	606	18.6
30年3月期第1四半期	6,140	△3.4	459	27.0	800	10.1	511	△6.8

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 488百万円 (△26.9%) 30年3月期第1四半期 667百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	97.45	96.73
30年3月期第1四半期	81.66	81.23

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	30,310	18,953	62.2
30年3月期	29,707	18,776	62.8

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 18,844百万円 30年3月期 18,661百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	8.1	850	△4.6	1,500	△0.5	1,000	△2.3	160.76
通期	27,500	6.5	2,000	△7.0	3,000	△6.1	2,000	△10.5	321.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	6,436,258 株	30年3月期	6,436,258 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期1Q	211,336 株	30年3月期	216,137 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	6,220,360 株	30年3月期1Q	6,261,816 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな景気回復基調にあるものの、貿易摩擦の激化や中東の原油情勢などによる世界経済への影響懸念から、今後の景気の先行きは、依然不透明な状況が続いております。

この様な経営環境の中、当社グループの当第1四半期の業況は、主力の染色加工事業をはじめ、全てのセグメントで増収となりました。また、利益面では、原燃料価格が上昇傾向にあるものの、増収効果と製造原価の低減に取り組んだこと等により営業利益は増益となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、これらに加え、持分法投資利益が増加したことにより増益となりました。

当第1四半期の当社グループの売上高は6,665百万円と前年同期比525百万円(8.6%)の増収となり、営業利益は521百万円と前年同期比62百万円(13.6%)の増益、経常利益は932百万円と前年同期比131百万円(16.4%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、606百万円と前年同期比94百万円(18.6%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

## (染色加工事業)

当事業では、納期対応や開発案件の迅速化、早期化に積極的に取り組みました。用途別では、主力のユニフォーム用途や自動車関連資材用途等が堅調に推移しました。利益面では、原材料、燃料価格が上昇傾向に転じているものの、グループ全体で工場稼働の効率化や調達資材の多様化、ロス削減等に引き続き取り組んだことから、増益となりました。

当事業の売上高は3,209百万円と前年同期比49百万円(1.6%)の増収となり、営業利益は288百万円と前年同期比27百万円(10.5%)の増益となりました。

## (繊維販売事業)

テキスタイル事業は、既存客先への提案営業を強化する一方で、新規顧客層の掘り起こしに向け、営業開拓に努めました。用途別では、主力のユニフォーム用途や婦人衣料用途が堅調に推移しました。アパレル事業は、OEM事業の抜本的な再構築に取り組むとともに、ODMによる企画機能を活用することにより、商品訴求力の向上を図り、新規チャネル等の市場開拓に注力しました。また、両事業とも縫製事業との連携をより緊密化し、差別化商品の開発に取り組みました。酒伊貿易(上海)有限公司は、アパレル事業との連携により、アセアン地域を活用した事業に取り組みました。

当事業の売上高は2,085百万円と前年同期比320百万円(18.2%)の増収となり、営業利益は103百万円と前年同期比4百万円(4.2%)の増益となりました。

## (制御機器事業)

制御装置関連は、主力の自動車プレス機向けが伸び悩んだものの産業プラント向けが堅調に推移しました。電力工事関連は、発電所向け大型案件の新規受注があったものの、足元の中小規模案件が減少したことにより、売上は伸び悩みました。情報システム関連は、FA系監視システムの開発案件やハードウェア更新案件が堅調に推移しました。

当事業の売上高は472百万円と前年同期比120百万円(34.1%)の増収となり、営業利益は51百万円と前年同期比7百万円(16.3%)の増益となりました。

## (その他の事業)

織布事業は、海外向け織物用糸加工、高密度織物が堅調に推移しました。水産資材事業は、沖縄県での中層浮魚礁の販売に注力しました。建設不動産事業は、民間工事ならびに一般住宅の新築、リフォーム案件の受注に注力しました。複合部材事業は、主力のモータースポーツ用途に注力する一方、スポーツ・レジャー用途などその他の用途展開に向けた取り組みを進めました。縫製事業は、主力である百貨店系アパレル向けが堅調に推移した他、新規客先の開拓に向け、提案型営業の強化に努めました。

その他の事業の売上高は897百万円と前年同期比34百万円(4.0%)の増収となり、営業利益は73百万円と前年同期比23百万円(46.0%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加して30,310百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより364百万円増加して15,204百万円となり、固定資産は、投資その他の資産の増加などにより238百万円増加して15,105百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ426百万円増加して11,356百万円となりました。流動負債は、361百万円増加して8,064百万円となり、固定負債は、64百万円増加して3,291百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加して18,953百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が118百万円減少したものの、株主資本が301百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は62.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,779,181	6,140,789
受取手形及び売掛金	4,762,377	4,530,051
電子記録債権	1,360,952	1,343,289
商品及び製品	1,359,402	1,433,373
仕掛品	614,083	747,742
原材料及び貯蔵品	400,902	405,639
その他	584,901	622,610
貸倒引当金	△21,114	△18,630
流動資産合計	14,840,687	15,204,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,422,579	2,378,974
機械装置及び運搬具(純額)	911,263	932,335
土地	2,514,832	2,514,832
リース資産(純額)	88,919	93,819
建設仮勘定	6,032	5,911
その他(純額)	36,725	34,500
有形固定資産合計	5,980,352	5,960,374
無形固定資産		
のれん	120,301	112,465
その他	100,970	96,639
無形固定資産合計	221,272	209,104
投資その他の資産		
出資金	5,682,775	5,970,213
その他	2,983,355	2,966,796
貸倒引当金	△1,050	△1,050
投資その他の資産合計	8,665,081	8,935,960
固定資産合計	14,866,706	15,105,439
資産合計	29,707,393	30,310,305

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,237	3,547,739
電子記録債務	929,030	1,220,775
短期借入金	1,277,318	1,340,788
未払法人税等	463,868	188,636
賞与引当金	547,873	286,382
その他	883,980	1,480,585
流動負債合計	7,703,309	8,064,907
固定負債		
長期借入金	1,454,099	1,396,887
環境対策引当金	21,872	21,872
退職給付に係る負債	902,794	903,201
資産除去債務	114,626	114,944
その他	733,873	854,965
固定負債合計	3,227,265	3,291,871
負債合計	10,930,574	11,356,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,235,624	1,232,895
利益剰余金	12,000,171	12,295,352
自己株式	△431,914	△422,432
株主資本合計	17,458,926	17,760,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	631,269	612,943
繰延ヘッジ損益	△5,812	1,561
為替換算調整勘定	642,034	530,574
退職給付に係る調整累計額	△65,061	△61,130
その他の包括利益累計額合計	1,202,429	1,083,948
新株予約権	68,396	61,136
非支配株主持分	47,066	47,581
純資産合計	18,776,818	18,953,525
負債純資産合計	29,707,393	30,310,305

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,140,103	6,665,207
売上原価	5,206,799	5,617,191
売上総利益	933,303	1,048,016
販売費及び一般管理費	474,089	526,240
営業利益	459,214	521,775
営業外収益		
受取利息	482	650
受取配当金	18,771	22,183
持分法による投資利益	318,647	393,632
その他	14,017	12,441
営業外収益合計	351,919	428,908
営業外費用		
支払利息	8,181	7,388
為替差損	1,630	6,372
その他	438	4,682
営業外費用合計	10,249	18,443
経常利益	800,883	932,240
特別利益		
固定資産売却益	—	2,799
特別利益合計	—	2,799
特別損失		
固定資産除却損	26	97
環境対策引当金繰入額	26,043	—
特別損失合計	26,069	97
税金等調整前四半期純利益	774,814	934,943
法人税等	262,758	328,251
四半期純利益	512,055	606,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	742	504
親会社株主に帰属する四半期純利益	511,313	606,186



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	512,055	606,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,898	△18,316
繰延ヘッジ損益	3,520	7,373
為替換算調整勘定	△9,596	△5,265
退職給付に係る調整額	129	3,930
持分法適用会社に対する持分相当額	88,753	△106,194
その他の包括利益合計	155,705	△118,471
四半期包括利益	667,761	488,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,001	487,705
非支配株主に係る四半期包括利益	759	514

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算していましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しています。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,159,674	1,764,722	352,550	5,276,946	863,156	6,140,103	—	6,140,103
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,340	6,400	55,394	70,135	139,143	209,278	△209,278	—
計	3,168,015	1,771,122	407,944	5,347,081	1,002,300	6,349,382	△209,278	6,140,103
セグメント利益	261,192	98,957	44,069	404,219	50,523	454,742	4,471	459,214

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,209,521	2,085,100	472,919	5,767,542	897,665	6,665,207	—	6,665,207
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19,901	7,533	103,333	130,767	143,301	274,069	△274,069	—
計	3,229,423	2,092,634	576,252	5,898,310	1,040,966	6,939,277	△274,069	6,665,207
セグメント利益	288,726	103,149	51,269	443,145	73,774	516,919	4,855	521,775

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。